



四国電友会会報

第 97 号

9年1月

賀 正

目 次

年頭ごあいさつ	2
年頭にあたって	3
NTTだより	4
マルチメディア・ビジネスセンター	4
トリプルセット割引	4
自動コレクトコール	4
平成八年度中間決算	4
プチネットとウララ	4
お知らせ	5
健康のページ(NTT松山病院)	6
人生さまざま・後半生を生きる	7
私は今	8
テルウェルだより	12
美馬・三好地区にボラグループ	12
初の合同ボラ(高知・須崎)	12
シングルOBが龍馬脱藩の道へ	12
OBいよ大学最終講	13
家庭介護者交流会を開催	13
サロン開設五周年で抹茶の接待	13
サークルだより	14
俳句	15
敬弔	15
表紙の言葉	15
編集後記	15

年頭あいさつ

電友会四国地方本部長

西本寿恵一



電友会の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族お揃いでよい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様には、日頃、会の活動について何かとご協力を頂き、有り難うございます。

また、NTT及びNTTグループ各社におかれましては、電友会の運営に対し、常々多大のご支援を賜っておりまして、深く感謝申し上げます。

電友会は、全国組織に統一されてから七周年になりますが、四国の会員数は、今や四千名を超え、全国の仲間も八万余名を数えるほどになりました。

これは、一生のライフワークとして電気通信事業を選び、苦楽を共にしてきた者同士の友情と、NTTに対する愛着心の現れであり、同時に、このようなOBの心情をしかと受けとめ、物心両面にわたってバックアップ頂くNTTの厚い配慮の賜物であります。

われわれは、今後一層この集いを大切ににし、お互いのこれからの人生にとって、より有意義なものになるよう努めたいも

のであります。

さて、昨年は、われわれOBにとって最も身近な年金について、厚生年金への統合問題がありました。

長い間お世話になってきたNTT共済年金が、本年四月から厚生年金に統合されることになり、昨年六月の国会で関係法が成立し、一定の整理が行われました。その内容は既にお知らせしましたが、詳しくは、近々の「年金だより」により個別に周知されますので、行き違いのないようにしなければなりません。

年金制度の改善については、電友会として、毎年陳情等の活動を行ってきましたが、今後とも、われわれの中心課題として取り組むことにしているところであります。さらに、高齢化社会を迎えるにあたり、いよいよ介護保険制度が国会の場で論議されようとしておりますし、健康保険の自己負担額や老人医療費の引き上げ問題も浮上しておりますので、これらの動向にも今後十分関心をもっていく必要があります。

また、昨年は、NTTにおいても大きな動きがみられました。

NTTの平成七年度の決算は、現役の皆様の並々ならぬご努力により、収益が過去最高の伸び率を記録し、四年振りに三億円の経常利益に回復したこと、四国の収支率も大きく改善されたこと、そして、株主総会では社長が交代され、宮津新社長のもとで、「電話中心の時代からマルチメディア時代」に向けた新た

な業務の刷新、合理化計画が進められることになり、かつてないストラ計画がここ数年の内に実行される模様であります。われわれOBにとっては、心強くもまさにダイナミックで、息の詰まるような動きであります。

特に、長年の懸案でありました「分離・分割問題」については、大詰めを迎えた師走の始め、NTTと郵政間で「持ち株会社方式による三社分割再編」という合意が成立した旨報じられました。この方式の実現には、今後なお幾多のハードルを越えなければならぬもののようでありませんが、いずれにしても、われわれは、NTTの経営に関する重要事項が持ち株会社において、事実上、全国一律の経営体制が維持されるよう心から望みつつ、今後の動きに注目したいものであります。

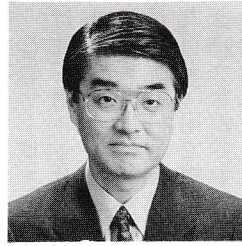
われわれは、NTTを心のふるさととし、常々その発展を願い、惜しみなく協力したいと念じております。そのためには、まずは、それぞれの地域社会において、色々な場面を通じ、NTTの考えや、NTTが如何に一生懸命やっているかについてPRすることから始めたいものです。そして、さらに販売の情報提供などの直接的な協力を努め、NTTと電友会とが気脈を通じ合って、発展していくようお願いいたします。

終わりに、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、療養中の方々には、一日も早いご回復をお祈りし、新年のごあいさつとします。

年頭にあたり

N T T 取締役 四国支社長

吉岡 正紀



電友会の皆様、
新年明けましてお
めでとうございま
す。

会員の皆様にお
かれましては、ま
すますご健勝にて
よいお年をお迎え
のことと、心よりお慶び申しあげます。
平素よりN T Tの事業に対して深いご
理解をいただき、また、各種の施策の実
施にあたりご支援、ご協力を賜り厚く御
礼を申しあげます。

本年は、電友会が全国組織に統一され
てから八年目となりますが、年ごとに充
実するとともに、四国の会員数も四千三
〇名を超え、ますますご発展を続けられ
ておられますこと、まことに御同慶のい
たりと存じます。

さて、情報通信を取り巻く環境は、パ
ソコン、インターネットの普及等により、
急速にマルチメディア化、国際化してお
ります。

N T Tでも今後のマルチメディア時代
に向けて、支社や支店にマルチメディア
部門を設置し、社員全員が何らかの形で

マルチメディアに取り組み、二一世紀の
情報化社会を展望した施策を展開してお
ります。

お蔭様で、回線の新規加入においても、
I N S ネットの加入が加入電話の新規注
文を上回っており、関心の高さを感じて
いるところであります。

電友会の皆様におかれても、四国支社
のマルチメディアプラザ及び各支店に開
設しているマルチメディア体験コーナー等
をご利用いただき、是非、マルチメディ
アを体験していただきたい思います。

四国支社では、昨年も「N T Tサンク
スフェア」の販売キャンペーンを開催し、
通信機器、I N S ネットの市場拡大、テ
レチョイス等の料金割引サービス、高性
能転送電話サービス「ボイスワープ」等
の販売拡大に努めてまいりましたが、そ
の際には、諸先輩の皆様にも販売情報の
提供等のご協力をいただき、大変ありが
とうございました。

また、皆様方にご支援していただいた
N T Tの経営形態問題については、昨年
三月の閣議決定を踏まえ、郵政省と調整
を図ってきましたが、郵政省が策定した
純粋持株会社による再編成案について、
基本的に了承することにしました。

N T Tとしては、純粋持株会社制度を
導入することにより、従来、「分離・分
割」に反対してきた最大の理由であった
「株主権利保護」の問題が克服できるこ

と等から、今回の再編成案について了承
することにしたものです。

今後は、政府による純粋持株会社制度
のN T Tへの導入、連結納税制度の導入・
資産譲渡益課税の免除等の税制上の特例
措置等の法制化への対処が、大きな課題
となってまいります。

このような状況を踏まえ、諸先輩の皆
様方には、今後とも地域社会とN T Tの
力強い接点として、電気通信事業発展の
ため、ご指導、ご支援をいただきますよ
う、お願い申しあげます。

最後になりましたが、皆様方のご健康
と電友会のご繁栄をお祈り申しあげ、年
頭のごあいさつといたします。



NTTだより

マルチメディア

ビジネスセンターを設置

NTTは、一〇月一日から、マルチメディアに関するお客様からの様々な問い合わせにお答えする「マルチメディア・ビジネスセンター」を全国の支店に設置し、次により受付を開始しました。

専用番号 〇二〇一〇七八五五四
受付時間 (土・日・祝日を除く)
午前九時～午後五時

「トリプルセット割引」を開始

NTTは、一月一日より、ボイスワープなど特定の三つのサービスを併せて利用している場合に、それらのサービスの月額使用料の合計金額から一定金額を割引する「トリプルセット割引」を実施することになりました。

このサービスを利用することで、例えば住宅用ユーザの場合、ボイスワープ・キャッチホン・プッシュ回線を利用している場合には、合計が千九百〇円となる月額使用料金を、二百四〇円引き引いて九百五〇円で提供し、約二〇%引き引くというものです。ご利用下さい。

「自動コレクトコール」を開始

NTTは、一月一日より、コレクトコール(料金着信払通話)の一連の操作を利用者自身が行う「自動コレクトコール」サービスの提供を開始しました。

このサービスは、利用者自身が「一〇八番」をダイヤルして、後は音声ガイドに従い操作するものです。接続料(一通話毎に)九〇円とダイヤル通話料は、利用料金として着信側へ請求します。

但し、ダイヤル回線から発信する場合には、プッシュ信号が送出可能な電話機を使用する必要があります。(携帯電話、PHS等へは接続できない)

平成八年度中間決算

NTTは、一月二二日、平成八年度の中間決算を、次の通り発表しました。

○当中間期の業績
上半期の経常利益は、前年同期比六三・九%増の二千七百七億円。中間利益は千二百億円。営業収益は、ダイヤル通話料や専用線の値下げ及びアクセスチャージ(事業者間の相互接続料金)改定などの影響はあったが、インターネット、パソコン通信などの急速な普及といった好調な事業環境を捉えた各種の営業努力によるダイヤル通話料、ISDN、専用収入などの増収により、三兆千五百五十七億円で、前年同期比四・二%増と二期連続の増収となった。営業費用は、ディジタル化・光ファイバ化による減価償却などの増加や増収を支える費用などの増加はあったが、金融収支の改善や人員削減(約四千七百人)の効果による人件費の減少もあり、二兆九千三百億円で、前年同期比二・一%増にとどめた。

この結果、経常利益は二千七百七億円で、前年同期比六三・九%増と二期連続の増収となった。中間決算の経常利益が二千

億円を超えたのは、平成元年度以来、二度目となる。これにより二千五百円の間配当を実施する。

○八年度の年間業績予想

平成八年三月の遠距離通話料金の値下げや一二月の移動体のアクセスチャージ改定など、減収要因はあるが、引き続き増収施策や効率化の推進などに努め、八年度は、三千四百九〇億円の経常利益を見込んでいる。

○遠距離通話料金の値下げ

内外格差の縮小に向け、一〇〇km以上の遠距離通話料金を、現在の三分百四〇円(平日昼間)から二〇〇三〇円値下げすることを検討している。早ければ二月中にも実施する。

これが実現すれば、二千年までに遠距離通話料金を、三分間百円にする目標に大きく前進する。

「ぶちねっと」と「UI La La」

NTTマルチメディアサービス部は、一月二五日より、小・中学生が遊び・学習の両面から楽しく利用でき、教育機関が教材としても使うことができる「ぶちねっと」と、おしゃれ・仕事・結婚など女性必見の情報がジャンル別に検索できる「UI La La」を、インターネットホームページの検索システムに追加しました。ご利用下さい。

今後ユーザには、情報量とメニューの拡充が期待できます。

お問い合わせは、ディレクトリ担当へ。電話(〇三)一五三三三二〇八五

お知らせ

電友会本部行事

○第九回事務局長会議

去る九月一日、電友会本部（NTT新宿本社ビル）において、全国一三地方本部の事務局長が集まり、第六回電友会ボランティア活動賞審査委員会要旨、電友会運営細則の見直し等について説明を受け、高齢化時代の情報通信システム等についてディスカッションしました。

○第一六回理事会・ボランティア表彰

去る一月二五日、東京京橋会館において、定例の理事会が開催され、①電友会会則及び運営細則の見直し結果について、②第六回電友会ボランティア活動賞の審査結果と表彰式の実施について、③事務局長会議模様等について、審議し、第六回ボランティア活動賞受賞者の表彰式を行いました。

四国地方本部の受賞者は、次の方です。
渡部廣高様（松山市）、**福原亨様**（高知市）

*渡部さんは、昭和四八年から子ども会の運営、子ども会指導者の育成等に取り組み、子供達の幸せを願って、日夜努力されています。また、福原さんは、昭和三年から地域のスポーツ振興・発展に生き甲斐を感じ、献身的な奉仕活動を続けておられます。

*電友会のボランティア活動賞は、地域振興活動、社会福祉活動、環境保護・環境美化活動、文化活動等々に生き甲斐を見出し、永年にわたって地道に活躍され

ている会員（今回の受賞者は個人二二名と六団体の代表者）に対して、毎年贈ることになっています。

ボランティア功労賞を受賞

去る九月二二日、**上田昇様**（松山市）が、菅厚生大臣からボランティア功労賞を受賞されました。

電信電話記念日の表彰

平成八年度の電信電話記念日にあたり、長年にわたって電信電話事業の発展に尽力された次の会員の方々に、NTT四国支社長から感謝状が贈られました。

井川大吉様（松山市）、**新開章郎様**（阿南市）、**窪田剛介様**（高知市）

電気通信産業功労賞を受賞

去る一月二二日、**村尾良一様**（高松市）が、(株)電気通信協会（平山温会長）から電気通信産業功労者として表彰されました。

電友会団体傷害保険のご案内

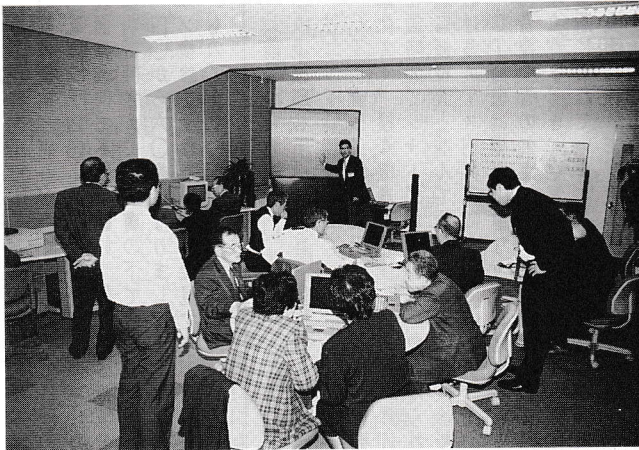
電友会会員とご家族のための団体傷害保険を募集しております。お手元にお送りしましたパンフレットを是非ご覧頂いて、払込取扱票に必要事項を記入の上、切り取ってお申込み下さい。切日は二月末日です。

まさかのケガ（転倒、転落、交通災害等）にワイドな補償付きで、申し込み年齢に制限はございません。ご夫婦でのご契約をお勧め致します。

マルチメディアを体験

愛媛電友会

去る一月七日、愛媛電友会では役員会終了後、NTT四国支社総務部にお願いで、役員全員が松山研修センターへ向かい、インターネットを通してホワイトハウスのホームページを開いて見せてもらったり、インスタラクタの皆さんのお世話になりながら、マウスを操作（？）して、約二時間、ウインドウズを使ってパソコンの立ち上げ、切断、メモ帳を使ったワープロ操作、メール交換等に時間の経つのも忘れ取り組みました。



健康のページ

乳ガンについて

N T T 松山病院外科 坂川 太一



今から二〇年前までは、乳ガンは欧米に多く、我が国には少ないガンといわれていました。

しかし、最近では罹患者率、死亡率ともに年々増加傾向を示

しています。今回はこの乳ガンについて述べてさせていただきます。まず、乳ガンが増加してきた一因として、食生活、生活様式の欧米化が考えられています。食生活については、カロリー、脂肪の過剰摂取、肥満が関係し、生活様式については、子供の数が減ってきたこと、初潮年齢の若年化、閉経年齢の高齢化が関係しているといわれています。

以前より乳ガンの発生について、エストロゲンというホルモンが関係しているといわれており、初産年齢の高齢化、寡産、閉経年齢の高齢化にともない、このエストロゲンに曝露される期間が長くなっています。

また、閉経前のエストロゲンは卵巣でつくられますが、閉経後は皮下脂肪を分解しエストロゲンがつくられます。したがって、肥満脂肪の過剰摂取によって高エストロゲン状態が続く、閉経後の乳ガンの発生が増える原因ともいわれています。

次に、乳ガンの症候としてどのようなものがあるかと申しますと、腫瘤（しこり）、えくぼ症候（腫瘤をはさんで持ち上げると、その部分の皮膚がえくぼのようにへこむ）、乳頭の異常分泌（乳頭より血性、あるいは透明な液が出る）などがあげられます。しかし、これらの症候が現れたからといって、

短絡的に乳ガンとはいえません。例えば、しこりで外来に來られる患者さんを見ても、良性の線維腺腫、乳腺症である場合がほとんどです。えくぼ症候は乳腺の炎症でも見られる場合があります。乳頭異常分泌は単なる乳腺症でも認められます。病院に來てどんな検査をするかといえますと、まず触診、そしてレントゲン撮影、超音波検査を行います。その上で画像上腫瘤が確認できれば、穿刺吸引細胞診、あるいは生検を行います。吸引細胞診とは腫瘤を針でさして細胞をとってくるものです。そしてそれを顕微鏡で見る検査に出し診断を確定するわけです。

乳ガンの治療は、やはり手術療法が中心となります。現在では非定型的乳房切除術（縮小手術）といって、大胸筋を温存する手術が主流となっています。昔は定型的乳房切除術といって、大胸筋までとってしまう術式が主流でしたが、術後の外見が醜悪で、現在ではあまり行われなくなりました。更に、大きさが2cm以下の早期のガンで、乳頭より3cm以上離れているならば、乳房を四分の一程切除する乳房温存術式も可能であります。

いずれのガンでもそうですが、早期に見つかったもので予後がよく、手術も小さく済みますので、何か異常を感じれば、病院に來て医師に相談することをお勧めします。

また、予防というものではないのですが、暴飲暴食、過剰の脂肪摂取を避け、適度な運動をし、適正な体重を保つことが、ガンに限らず健康を維持する上で大切なことではないかと思えます。最後に、日常よくみる線維腺腫（良性の腫瘤）、乳腺症と乳ガンの特徴をあげておきます。

○線維腺腫 二〇〜三〇歳に好発。球形の腫瘤。表面はなめらかで押さえると皮膚の下でよく動く。周りとの境界がはっきりしている。

○乳腺症 三〇〜四〇歳に好発。大きいものは扁平な硬結として触れる。周りとの境界が

はつきりしない。表面は顆粒状、結節上に触れる。硬結を圧迫すると痛みをとまなう。月経前は硬結、痛みが強くなる。

○乳ガン 四〇〜六〇歳に好発。痛みはない。表面は凸凹で不整。硬い。周りとの境界は不鮮明。押さえても皮膚の下での動きは悪い。四〇から六〇歳になりましたら、毎年、乳ガン検診を受けて早期に発見するようにしたいものです。

（前号からの続き）

四 上腹部CT検査（コンピュータ断層撮影法）

CT検査はX線を使用したデジタル横断面画像です。検査機器の発達によって、最近では短時間でシャープな臓器の画像が得られ、超音波検査と並んで腹腔内臓器の画像診断におけるエース的存在になっています。

CT画像は臓器の重なりが問題にならず、超音波検査の欠点であるガスや骨による死角をカバーでき、空気や脂肪、小さな石灰化の診断に優れています。検査の実際は、検査前の食事は抜いて空腹の状態での検査を受けてください。これは、胆嚢を胆汁で満たしておくためと、検査の目的によっては造影剤を点滴静注することがあるためです（ごく稀に造影剤により嘔気を催すことがあります）。円筒状のガントリの中に入り、呼吸停止下にて撮像します。一回の撮像は数秒で済み、それを十数回繰り返します。特に痛かったり苦しかったりすることはありません。CTで診断がつかない場合は、MRIや血管造影などの検査へと進んでゆきます。

以上簡単ですが、癌のスクリーニングに使用する各画像診断について説明しました。必要以上に検査を怖がり、逆に過信したりすることなく、検査の意味をよく理解して、冷静にしかも前向きに定期的なスクリーニング検査を受けてください。

ドキュメント

人生さまざま・後半生を生かす

奉仕の精神で

親しまれる地域タウン誌づくり

松山市に住むFさん（六九）は、現在、発行部数約一萬部の地域タウン誌（月刊）の編集責任者として活躍している。

Fさんは、この種タウン誌の編集発行は、NTT現役時代を通じてズブのシロウト。当初はスタッフの方々の指導・助言を得ながらの編集で、情報が集まらず、原稿不足、発行遅延と、難行苦行を重ねたという。

しかし、最近ではFさんの「地域に役立つ、親しまれるタウン誌」づくりの情熱と、その人となりから、地域各界、各層に認められ、積極的に情報が提供される場所となり、カメラ片手の取材に、編集にと、忙しい充実した日々を送っている。

また、その誌面もビジュアル化を工夫し、地域内の行事、出来事が読みやすく、親しみやすく編集されているので、地域の職域や家庭での話題の提供に役立ち、文字通り地域住民のふれあいの情報源として好評で、町内会長、公民館長を始め商工会などからも、町づくりに役立つふれあい情熱誌として必要不可欠のものとして評価され、期待されている。それにこのタウン誌は、関係者の依頼もあって中学校にも配付し、各教室に地域情報として掲示してもらい、中学生にも話題を提供

しており、地域に根ざした学校教育の一助ともなっているとして関係者から評価も高い。

こうした地域の人達のタウン誌に寄せる思いが、Fさんの編集・発行作業に対する情熱と意欲をかきたてる原動力になっているようである。

Fさんは、地域の方々とふれあいを大切に、タウン誌の編集活動等を通じて、自分が生かされている社会のために役に立ちたい。そのためには、この仕事を生きがいにして今後も精力的に取り組み、生きて行きたい。また、そのことを誇りと言っている。

昭和六〇年に退職したFさん。在職中は「自他共に認める真面目な会社人間」でした。

退職後は「自分の出来ることを生かした社会奉仕」をと、ボランティア団体に入会。福祉施設の清掃や植木の剪定、車イスの介助などの奉仕作業、老人ホームへの慰問活動等を行って来た。

その一方で、地域社会とのふれあいと仲間づくりを目指し、県高齢者大学への入学。ボランティア養成講座を受講したりしている。また、趣味の分野では、俳誌「星」の同人であったり、日本レクリエーション協会の二級ライセンスを持ち、「安来節」は準師範の腕前等々、活躍範囲は多岐にわたる。

Fさんが地域タウン誌の編集責任者に選ばれたのも、こうした社会奉仕の精神や、幅広い趣味とひたむきな行動力が認められたのではないだろうか。

今、Fさんは、タウン誌編集発行業務

に忙殺され、他のボランティア活動は滞りがちだが、手がとれば、何時でも何からでも参加し、地域社会のために役立つと意気盛んで、老人ホームでの紙芝居や俳句指導は今も続けている。特に紙芝居は好評で、各方面からの引き合いも多いとか……。

最後に、Fさんが何時までもお元気で、より地域社会に根ざした活動で、「より親しまれ、地域に役立つタウン誌」を目指して挑戦し、ご活躍されて、今後の人生を誇りを持って歩まれんことを願いつつ、更なる声援を送りたい。

（芳野編集委員記）

（一四ページより）

窓会賞を贈られている。その内容の文化的、学術的、歴史的価値の高さがうかがい知れるであろう。（六車記）

「松山あたりの昔ことば」

高市 沖見著

ことばのもつ意味は変わらなくても、時代とともに新しい表現方法が採用され、「昔ことば」は段々と消えて行く運命にあります。高市沖見さんは、その消えて行く古いことばを拾って、後の世代にまで残しておこうと努力され、今回「松山あたりの昔ことば」を三年がかりで集めた資料を整理し、出版されました。

テレビ、新聞等でもこの本が紹介されましたので、既にご承知の方も多いと思いますが、「NTT四国」の十一月号にも紹介記事が掲載されています。ご一読下さいませ。（愛原記）

私 は 今

◇ 池浦 博美

(香川町)

退職して早一三年。お蔭様で大病もせず、体調はまあまあというところ。会報は、毎回読みながら皆様の近況を知るのを楽しみにしています。

ボケ防止にと、各種講座を受講する一方、かがわ長寿大学を受講。現在、地域活動実践課程の三年生。郷土史、文学、法律、医学等を学び、頑張っています。

また、近くの老人仲間数人で、近隣の温泉に行き、湯につかりながらのよもやま話を楽しんでいる今日この頃です。

◇ 宇都宮光夫

(伊予市)

再就職を含めて、通算四八年の勤めを終え、もう五年になるうとしています。

現在、地域広報区の役員と広報委員、それに地区老人クラブ(会員八二名)の事務局などを担当し、再就職先で習ったワープロを生かして、地域への奉仕に努めております。

また、健康維持のため、毎日、近くの整備された海岸の遊歩道を散歩するなど、「エイジレス」で頑張りたいと思っております。

◇ 織田 一

(高知市)

消息をと、お便り有り難うございます。退職して一五年になります。退職前に医務室の先生から血圧、体重等が高いので注意するように言われておりましたので、見元回生病院で診てもらい、以後、

薬をもらいに通院が続いています。

平成六年四月には、風邪から肺炎を引き起こし、一カ月入院しました。退院後、足腰が痛み診てもらいましたら、運動不足と言われ困っています。

◇ 小野富美代

(須崎市)

退職致しましてもう一二年にもなろうとしております。これから先一二年経ったら七五歳になってしまうと思うとぞっとします。

主人の退職を機に続いて退職し、一緒に遊ばねば損と思ひ、辞めてから八八カ所を一回だけ巡拝しましたが、それから主人も共にボランティアの仕事を引き受け、在職中と同じようなすれ違いの生活です。

一つ二つと引き受けて、今では五団体に足を踏み入れておりますが、その合間には畑で野菜や花を作って、J A女性部の良心市へ出品しております。

◇ 金丸 輝雄

(徳島市)

八七歳になる母が軽い痴呆症になり、老人保険施設に入所して四年が過ぎました。週に一、二度面会に行き、近況を話すことと理解を示すこともありませんが、感情を表さないこともしばしばです。でも体調も良さそうで、顔を見て安心して帰れます。

職員の方々の親身になっての看護、介助には、頭の下がる思いです。行事も毎月の誕生会、ひな祭り等、皆で楽しく……。母も幸せです。

退職して一〇年になり、自由な時は、

OBのゴルフコンペを楽しんでいます。

◇ 金田 進

(松山市)

高齢者大学で始めた陶芸、書道教室通いも五年になり、作品の出来は別として、たまに出展してみんなと楽しみ、町内会の役員を引き受けた必要上始めたワープロも、やれば出来ると一寸自信を持ったり、パソコン、キャドの時代に、仕事もボケ防止によかろうと、時代遅れの手書きで続け、気持ちだけは前向きに努めている七〇歳の今日この頃です。

歳月の流れの早いこと、今年も残り少なくなりましたが、皆様共々、来年も良い年であることを願っております。

◇ 鎌倉 米一

(三木町)

月日の経つのは早いこと、古希を越えもう二年。退職後、念願だった四国霊場巡拝も六巡し、これといった病気もせず、まあまあ元気にやっております。

さて近況ですが、趣味程度の野菜作り。玉葱を皮切りに枝豆、アスパラを経て目下レタス栽培、しかし、実益の方は全く怪しいものですが、その肥培管理、時の天候に一喜一憂しながら、結構充実した毎日を送っております。

◇ 木内 邦一

(長尾町)

ひとりの時、ビールの栓を抜いてコップに注ぎ、一息に飲み干すと、ハッチの向こうで「アア……」と声。耳を疑いながらも一度飲むと、また「アア……」。ゾーッと全身の毛がよだつ思いがしました。

◇ 立花 茂 (松山市)

第二の職場を一昨年退職し、これからのんびりと思いきや、町内会の会計やら、公民館分館長やらを仰せつかり、中々に忙しい毎日を過ごしています。

地域での仕事で一番困るのは、長らく地域と疎遠になっていて、人の顔を知らないことでしょうか。

今、公民館で校区の五〇年史を作ることにになり、執筆や編集に取り組んでいます。すが、現役時代の経験が役立っています。

◇ 中井 右市 (坂出市)

退職して早一〇年。現在も囑託として香川県水道局で働いています。

NTT退職の翌日から坂出公共職業安定所で、求職者の職業相談員として約三年間働き、ここを退職した翌日からは、現在の所へ勤務しております。また、田六〇アールを耕作しながら、地区農事組合長として政府の減反政策を農家の皆さんに説明したり……。今年は、減反がより強化されそうです。

NTT退職後、一日も休むことなく働いておりますので、たまにはカラオケを楽しみます。

◇ 西岡 五男 (松山市)

二度の退職から六年。緑と自由を求め、白水の地に落ち着きました。一人娘も嫁ぎ、ボンヤリと過ごす日々でしたが、ある日突然手足にシビレを感じて、病院、鍼と通院生活が続いています。

今は、陶芸を趣味として土をこねたのが良かったのか、手の方は調子が良いよ

うです。未だがらくたばかりですが、時々、三越、そごう、アイテム展にも出品したりしています。

昼は陶芸教室へ、夜は一杯の晩酌に手足を取られながらも、毎日を楽しんでいます。

◇ 服部 昭三 (赤岡町)

光陰矢の如し、退職から丸九年が近づいています。健康には自信があったのに、血管の弱点を突かれ、頻脈と高血圧のため、昨年は、八月から一〇月にかけて入院を繰り返して、今は、二週間に一度の通院です。体調に合わせて、野菜作りと通信講座の受講で平穏な毎日ですが、病院で色々学びました。健康でなければならぬかと思いは切実です。皆様もどうかご自愛下さいませ。

◇ 濱岡 芳伸 (松山市)

退職後すぐに腰を痛め、二年間入院生活をしましたが、何とか回復し、知人の紹介で平成二年から五年間、東電通でお世話になりました。

最近では、地域OB会(日尾クラブ)の研修会に参加したり、サツキの手入れや週二回の暮会を楽しみしながら、町内会のお世話や市の広報委員をしています。年齢を感じる様になりましたが、体を動かすことで健康を維持し、余生を楽しみたいと思っています。

◇ 濱口 優 (南国市)

光陰矢の如し！早いもので、NTTを退職して一〇年半。第二の職場を離れて

一年半経ちました。

八年前からの軽い脳梗塞と何とか付き合いつつながら、減体重を心掛けての朝夕の愛犬との散歩や、家庭菜園での四季折々の野菜作りを楽しみ、健康管理に励んでいます。

皆様方もくれぐれもご自愛の程、お祈り申し上げます。

◇ 福原 正徳 (伊野町)

月日の経つのは早いもので、退職して早一年になろうとしています。幸い健康に恵まれ、まだ一度も病院のお世話になつた事がありません。これが何時まで続くことやら。現在は、NTT・TEでお世話になっています。

趣味のゴルフは、NTTのコンペの仲間に入れて頂き、老骨に鞭打って頑張っています。休日には、相変わらず家内と二人で小旅行を楽しんでいます。

これからも健康に留意し、頑張ってくださいと思います。

◇ 前谷 益清 (徳島市)

毎日が日曜日になって八年。この頃は「ヒマ」にも慣れ、毎日ゴロゴロしており、ピカピカだった釣り具も、今は埃を被ったままです。

健康には、人並みに気を付けておりますが、一番は「ノンビリユッタリ」。ストレスにはおとなしくしてもらい、出来るだけ早く出ていってもらう。そうしてなるべく医者に行かず薬も飲まないようにする。理屈に合わないかも知れませんが、私の健康心得です。

◇ 立花 茂

(松山市)

第二の職場を一昨年退職し、これからのんびりと思いきや、町内会の会計やら、公民館分館長やらを仰せつかり、中々に忙しい毎日をご過ごしています。

地域での仕事で一番困るのは、長らく地域と疎遠になっていて、人の顔を知らないことでしょうか。

今、公民館で校区の五〇年史を作ることにになり、執筆や編集に取り組んでいます。現役時代の経験が役立っています。

◇ 中井 右市

(坂出市)

退職して早一〇年。現在も囑託として香川県水道局で働いています。

NTT退職の翌日から坂出公共職業安定所で、求職者の職業相談員として約三年間働き、ここを退職した翌日からは、現在の所へ勤務しております。また、田六〇アールを耕作しながら、地区農事組合長として政府の減反政策を農家の皆さんに説明したり……。今年は、減反がより強化されそうです。

NTT退職後、一日も休むことなく働いておりますので、たまにはカラオケを楽しむこの頃です。

◇ 西岡 五男

(松山市)

二度の退職から六年。緑と自由を求め、白水の地に落ち着きました。一人娘も嫁ぎ、ボンヤリと過ごす日々でしたが、ある日突然手足にシビレを感じて、病院、鍼と通院生活が続いています。

今は、陶芸を趣味として土をこねたのが良かったのか、手の方は調子が良いよ

うです。未だがらくたばかりですが、時々、三越、そごう、アイテム展にも出品したりしています。

昼は陶芸教室へ、夜は一杯の晩酌に手足を取られながらも、毎日を楽しんでいます。

◇ 服部 昭三

(赤岡町)

光陰矢の如し、退職から丸九年が近づいています。健康には自信があったのに、血管の弱点を突かれ、頻脈と高血圧のため、昨年は、八月から一〇月にかけて入院を繰り返して、今は、二週間に一度の入院です。体調に合わせて、野菜作りと通信講座の受講で平穏な毎日ですが、病院で色々学びました。健康でなければならぬという思いは切実です。皆様もどうかご自愛下さいませ。

◇ 濱岡 芳伸

(松山市)

退職後すぐに腰を痛め、二年間入院生活をしましたが、何とか回復し、知人の紹介で平成二年から五年間、東電通でお世話になりました。

最近では、地域OB会(日尾クラブ)の研修会に参加したり、サツキの手入れや週二回の碁会を楽しみしながら、町内会のお世話や市の広報委員をしています。年齢を感じる様になりましたが、体を動かすことで健康を維持し、余生を楽しみたいと思っています。

◇ 濱口 優

(南国市)

光陰矢の如し！早いもので、NTTを退職して一〇年半。第二の職場を離れて

一年半経ちました。

八年前からの軽い脳梗塞と何とか付き合いつつながら、減体重を心掛けての朝夕の愛犬との散歩や、家庭菜園での四季折々の野菜作りを楽しみ、健康管理に励んでおります。

皆様方もくれぐれもご自愛の程、お祈り申し上げます。

◇ 福原 正徳

(伊野町)

月日の経つのは早いもので、退職して早一年になろうとしています。幸い健康に恵まれ、まだ一度も病院のお世話になった事はありません。これが何時まで続くことや。現在は、NTT・TEでお世話になっています。

趣味のゴルフは、NTTのコンペの間に入れて頂き、老骨に鞭打って頑張っています。休日には、相変わらず家内と二人で小旅行を楽しんでいます。これからも健康に留意し、頑張りたいと思います。

◇ 前谷 益清

(徳島市)

毎日が日曜日になって八年。この頃は「ヒマ」にも慣れ、毎日ゴロゴロしており、ピカピカだった釣り具も、今は埃を被ったままです。

健康には、人並みに気を付けておりませんが、一番は「ノンビリユッタリ」。ストレッチにはおとなしくしてもらい、出来るだけ早く出て行ってもらう。そうしてなるべく医者に行かず薬も飲まないようにする。理屈に合わないかも知れませんが、私の健康心得です。

◇ 真鍋 繁清

(高松市)

在職中に妻が脳卒中中で倒れ、看護のため退職。その後病状悪化、植物状態となる。毎日、食事、排泄、痰除去等看護を続け、一年後の平成四年に心不全で死亡した。この間の看護で一応私なりに寿命まで看取れたと思っている。

現在、私自身は健康で、六八アールの水田を耕作している外、自治会（共済部長）のお世話をしている。OBの懇親会は農繁期が多いが、今年は月末で参加できた。三年前から電友会総会にも出席。皆様にお会いできることを毎年楽しみにしています。

◇ 溝渕 匠

(鴨島町)

退職して一五年。二度目の職場で頑張っています。お蔭様で健康に恵まれ、仕事に趣味に充実した毎日を送っています。趣味は文学碑めぐりと俳句。前者は二三年前に始めましたが、昨年は四冊目の拙著を発刊し、目下、次の目標に向かっていきます。俳句は一〇年前から始め、現在、三つの俳誌に所属しています。毎月の投句三二句に追われています。

◇ 三美 孝雄

(松山市)

共済会六年。電話印刷三年と六五歳まで勤めて現在六九歳。慢性胃潰瘍のため生活は「規則正しく無理をせず」です。日課は散歩、謡、水墨画の練習と読書が主で、後は盆栽等をポツポツ。

健康のためのゴルフは週一回のミニと月一、二回の本コースを楽しんでいます。また、テルウエルの計画行事には極力参加するなど、元気で過ごしております。

◇ 森 康雄

(保内町)

退職して早くも六年が過ぎようとしています。病気もせず第二の職場に勤めて五年。月一五日の仕事ですが、元気なうちはこの仕事を頑張つて続けて行きたいと思っております。

楽しみは、年一回のホビークラブ活動の旅に参加することです。平成三年八月の富士登山に始まり、上高地、穂高、八方白馬、尾瀬、剣山等に行きましたが、一番心に残っているのは、富士山のご来迎と屋久島の縄文杉の根元で写真が撮れたことです。体力の続く限り参加して行くつもりです。

最近では体のためと思い、酒、煙草を腹八分目を目標に努力しているところですが、

◇ 矢野 忠雄

(松山市)

退職者の皆様、お変わりございませんか。私は一九一三年生まれの老人ですが、どうにか元気に過ごしております。

青春時代に戦争に巻き込まれ、結婚も恋も許されず、招集されて南方ジャワに上陸。数年して日本に帰還しましたが、松山も爆撃で破壊されておりました。今は、平和な日本が何時までも続きますことを祈るの頃です。

◇ 山本 茂基

(高知市)

退職して七年を迎えようとしています。

健康管理に名を借りて、ゴルフや磯釣りを楽しんで来ましたが、この一年、思いもよらず「石材」の勉強を強いられる羽目になりました。

桂浜の東側、太平洋上の高知新港建設工事が進むにつれ、産業道路のトンネルが、先祖の墓の近くを抜けるというのです。そこで思い切って最寄りの霊園を購入して、先祖代々の墓を移設し、子孫のための納骨堂建碑等々に必要な石材は、全て愛媛県産の大島石としました。今は開眼供養も終わりホッとしています。

◇ 湯村 真三

(徳島市)

先日、京都松ヶ崎会館で行われた京都学園の同窓会に行つて来ました。当日は少し時間があつたので、足を延ばして久しぶりに鞍馬山散策を楽しみました。

会は、近年、関西地区有志の計らいで、毎年開かれておりますが、四一年前の一年間の思い出や近況に話の花が咲きます。翌日は、保津峽を望むトロッコ列車に乗ったり嵯峨の紅葉を愛でたりと、優雅で心楽しい二日間でした。第二の職場も間もなく八年目、去就に迷う昨今です。

次の方から原稿を頂いております。次号の掲載となります。ご期待下さい。森安雄様、森明生様、鈴木稔様、町田磐夫様、田村梅男様・別宮康弘様

テルウェルだより

ボランティアアグループ活動開始

美馬・三好地区

一〇月一日、NTT阿波池田支店管内のOBが結集して、ボランティアアグループ作りに着手し、一月一六日の集会には五三名の会員登録がありました。

既に、池田町の特別養護老人ホームでの手伝い（四名）や、駅前でのNTT環境クリーン作戦（六名）に参加し活動を開始している会員もあります。

地域が広いいため、脇町と池田に分かれる傾向がありますが、連絡を取り合って協力して活動することになっています。

なお、役員として、会長には三宅康之氏、副会長には村上武夫氏、また、会計には新居豊子氏が選ばれました。

徳島県では、徳島、阿南、小松島に次いで四番目。四国全体では、一二番目のボランティアアグループの誕生です。

NTT高知OB会・須崎OB会

初の合同ボランティア実施

一月二日（土）、ボランティアA NT

T高知OB会は、NTT須崎OB会と合同で、環境保全ボランティアを実施しました。場所は写真にある中土佐町二名島海岸。当日は、中土佐町長及び町三役にも参加して頂き、高知二一名、須崎七名の参加者を加えると総勢は三二名。天候にも恵まれ、数に物を言わせて、軽トラ

ック一車分の空き缶等を拾い集め、一時間余りで海岸の清掃を完了しました。全員で昼食をとり、懇談の後、中土佐町が町施策として建設中の「黒潮本陣」（高級な憩いの家）を見学して解散しました。



シングルOBが龍馬脱藩の道へ

ふれあいバスツアーで親交

テルウェルでは、社会福祉事業の一環として、連れ合いに先立たれたOB男女の「ふれあいパーティー」「ふれあいヨットクルージング」を実施してきましたが、一月三日（火）、「ふれあいバス

ツアー」を実施しました。龍馬脱藩の道を研究され、著書もある村上恒夫先生（大洲史談会理事・OBいよ大学講師）の案内で、シングルOB一五名（男六名、女九名）が、龍馬脱藩の道の一部や吉村寅太郎等、維新に活躍した志士達の旧蹟（東津野・日吉方面）を訪ねました。

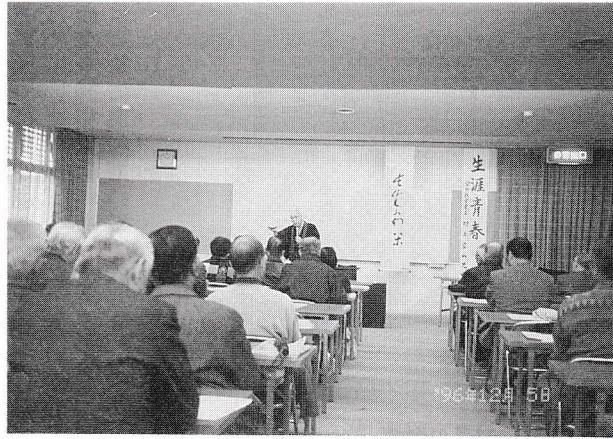
村上先生の弁舌さわやかな解説で、志士達の心意気に触れた思いを抱きながら、お互いに親交を深めあった一日でした。



「生涯青春」—OBいよ大学最終講

村上空山先生の人生講話

一二月五日（木）、OBいよ大学の本年度七回目（最終講義）の講話を、「空無我堂」堂主、村上空山先生にお願いし、「生涯青春」と題した人生講話を聴講しました。



先生は、日々授かるもの（仕事）に感謝と実行を、今を一生懸命生きることの大切さを、「人間の生命の尊厳が原点にあつて、弱い人間同士、他を愛し他に尽くすことが大切である。これを大げさにとらえたらしんどいから、せいせい自分の環境や能力に合わせ、わが身の周りにある何事でもいい、ほんのささやかなお手伝いをする。それでよいのではないか。

平凡でもよい、何の見返りも期待しないで、何気なく尽くしている姿こそ、動物とは違った人間だけの輝きであり、美しさである」と熱っぽく話されました。聴講者からは「心の青春を持ち続ける気持ちになりました」とか「今後の生き方を教えて頂いた」という声が寄せられています。

なお、講義終了後、七講中六講を終了した六六名のOBには、卒業証書と記念品を差し上げました。

家庭介護者交流会を開催

苦労話と休養でリラックスの一日

一二月一日から一泊二日の日程で、N T T プラザ松山等を会場として、家庭介護者交流会を開催しました。

家庭で日夜介護に当たっている方々がお互いの苦労話や体験談を交換するとともに、家庭を離れてゆっくり休養してもらうことを目的としており、一八名（内被介護者四名）のOBと遺族に参加して頂きました。

出席者には、意見交換会の他に、「愛松園」「子規博物館」の見学、「道後温泉」入浴、懇親会でリラックスした一日を過ごしてもらいました。

懇親会では、車椅子で参加した被介護者がカラオケで歌うなど、常日頃の苦労も忘れて盛り上がりました。

被介護者の内三名は、「愛松園」に宿泊し、介護者には介護なしの一夜を過ごして頂きました。



サロン開設五周年で抹茶の接待

たまも（高松）・おびやまち（高知）

OBサロン「たまも」が平成三年一月一九日、「おびやまち」が同年一二月一八日にオープンして五年が経過しましたので、これを記念し、記念日前後の三日間、来訪者に抹茶と菓子の接待を行いました。

この五年間の延べ利用者は「たまも」が三万三千名。「おびやまち」が二万一千名。「おびやまち」では、茶道のOBサークル「ふよう会」の皆様にも、大変お世話になりました。

サークルだより

眉秋俳句会

長島 正行(徳島市)

眉秋句会は、昭和五三年九月に設立総会を、同年一〇月に初句会を開き、以来、毎月開催し、平成八年一二月の例会で二一八回を数えるに至っています。発足当初の会員数は一六名。現在は物故されたり体調を崩したりで、一〇数名になっていますが、会員の熱意は変わることなく、和気あいあいのうちにも、例会は真摯に進めています。



11月の例会

一口に俳句と言っても、価値観の違いなど、かなり多様な面があって一概には

論じられませんが、当会で目指しているのは、自然感俳句と言われる方向のものです。勿論、形のうえでどれほどの違いがあるものでもありませんが、大括りのな心構えとして、大自然の奥底しれぬ神秘的な不可思議な綾に迫り、究め合って行こうとするものです。

サークル活動の主意は、習熟したい思うものへの正しい理解と、醍醐味を追求するところにあるものと心得ますが、その求道・達成に向けて全力で修練し合っけてゆくことで、派生的に心の通い合う連帯感も醸成され、親睦の度も密になって行くものとの理念に立って、努力を重ねております。

皆様の温かいご指導とご鞭撻を頂けましたら幸甚に思う次第です。

ゲートボール倶楽部「六月会」

杉野 芳弘(松山市)

昭和六〇年六月に発足したNTT六月会(愛称)は、昨年一月、宮崎ねんりんピック全国大会に、愛媛県代表として出場しました。

目下、①ゴルフのように金がかからず、②作戦練ってボケ防止、③練習続けて健康をと言ったところで頑張っています。皆さん思いついてみませんか。ご一報をお待ちしています。

本棚

「賀川玄悦の系譜とその周辺」

賀川 明孝著

表題の賀川玄悦その人は、一七〇〇年

(元禄一三年)に彦根藩士の子として生まれた。徳川時代の中期の頃である。後年、母方の賀川姓を継ぎ、京都に出て独学で産科について研究。遂に、胎児は母の体内においては「上臀首下」が正常位であることを発見し公表した。

それまでの通説は、わが国のみならず西洋においても、「胎児は頭部を上を臀部を下にしていて、分娩の始まるその時に上下転倒して頭を下に生まれ出るものである」と信じられていたのであった。この卓見の偉業は、産学界において、今日も高い評価を得ているということである。

賀川玄悦は、後に、阿波藩主峰須賀家の藩医に召され、その後賀川家代々は藩医の業績を挙げてきた。

この本の著者賀川明孝さん(徳島電友会会長)は、玄悦から数えて一二代目に当たる人である。

著者は玄悦を中心に、その子孫・周辺のゆかりある人々について、自家の古文書、碑文、市中の歴史書など資料を東西に渉猟・調査したうえで、この本にまとめあげている。総ページ三一七頁の大著である。

賀川家代々の人物、事績を詳述するほか、全国の賀川姓を名乗る家系を調べた結果も収めているが、この調査のため、北は秋田県から西は広島県まで足を運んだという。

この本は、平成七年に出版されたものであるが、平成八年三月には徳島県出版文化賞を、そして同年一〇月には通信同(七ページへ続く)

俳句

やまもも句会 (高知)

柚子をもぐ溪の空より鳥つづて 大西 瓶子
 珊瑚樹の大刈込も年用意 井上 ひろし
 百態の影揺れやまず鴨の陣 松村 郁子
 枯れ山に青き芽ものや禿道 岡崎 花子
 山の日のことりと落ちて十二月 押岡 里香
 ひととせのあまりに早し古曆 大田 佳代
 身に泌むやカルテに古き病増え 田中 兼尾
 熱茶享く鶏放し飼う紅葉寺 安村 千代子
 土佐の山眠りに遠し夕茜 井上 すみ子
 狸出る話聞きつつ紅葉狩 池内 寿子
 悉くならずじまいの年暮るゝ 小笠原 芳子
 散り果てゝ空の明るき大銀杏 尾崎 由子
 日の移る庭に翳落つる木立 田中 幾久子
 台風の外れし安堵や大根蒔く 竹山 りつ
 猪径の土新しく谷に果つ 次田 武子
 万葉の風情伝へし日田の秋 (一二月例会より)

敬弔

次の方々が逝去されました。
 謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福
 をお祈り致します。

氏名	死亡年月日	享年	地区
矢野長次様	8・9・20	65	徳島
沼野修様	8・9・21	66	松山
仙波静雄様	8・9・28	73	〃
原淳様	8・9・29	73	〃
小笠原貴幸様	8・9・30	86	高知
大森勇様	8・10・14	91	宇和島
森井栄様	8・10・20	92	三本松
安永忠紀様	8・11・2	64	松山
大城茂春様	8・11・3	79	土佐中村
小島繁雄様	8・11・7	71	高瀬
大林秋晴様	8・11・21	86	松山
武田忠様	8・12・6	74	〃
森本直市様	8・12・9	85	徳島
笠原健吉様	8・12・13	78	福山

▼テルウェル四国支部では、次の番号に
 より、訃報等をお知らせしております。
 〇一二〇―四七―二九四一

高齢者叙勲

勲五等瑞宝章 近藤 萩夫様 (松山市)
 勲五等瑞宝章 岩田 秀様 (徳島市)

物故者叙位叙勲

従六位勲六等瑞宝章 盛重 喜作様
 正七位勲五等瑞宝章 沼野 修様
 正五位勲五等瑞宝章 原 淳様
 従六位勲五等旭日章 小笠原貴幸様

表紙の言葉

「能・羽衣」 高本 隆之 (松山市)
 羽衣―壺峰富士を望む三保の松原、春
 暁の空に翻る天人の舞曲。それは優麗、
 典雅、清純の情趣を漂わせ、人々の心を
 和ませる。迎春に相応しいモチーフとし
 て選ばせて頂いた。
 演者は喜多流職分・金子匡一師である。

編集後記

分離・分割問題が暮れになって急浮上。
 二省分離後の公社発足、国際業務の切り
 出しといった局面を回想する。
 平成九年がNTTにとって、一層良き
 年となることを願う次第。
 (愛原)

原稿募集

一 近況短信 (二百字程度)
 二 短歌、俳句、川柳
 三 サークルの活動状況等 (写真可)
 〆切は二月末日です。会員多数からの
 投稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第九七号
 平成九年一月一日
 編集発行 電友会四国地方本部
 松山市一番町四ノ三
 NTT四国支社内
 電話(〇九)三六―二〇二三
 NTT四国電話帳株式会社
 印刷



ひろがるマルチメディア

香取慎吾
ボイスワープで
つかまる。



稲垣吾郎
ボイスワープで
つかまる。



自宅の電話を
外出先にワープ!

自宅にかかった電話を、外出先の
電話や携帯電話で受けられます。

自動的に転送。 自宅にかかった電話を、指定した電話、携帯
電話、ポケットベルに自動的に転送できます。

誰かが受けて転送。 自宅で誰かがいったん受けた後、内線電話
のようにカンタンに転送することも可能です。

外から転送先も変更OK。 外の電話から、転送の開始/停止、転送先
の変更ができます。(携帯電話やPHS等からはご利用いただけません。)

ボイスワープ

(月々500円) 住宅用

ご自宅での工事は不要。
お申し込みは116番へ。

*事務用は月々800円。*NTT側だけの工事で済みます。工事費用はかかりません(INSネット回線でのご利用を除く)。*いまお使いの電話機でそのままご利用いただけます。

新登場

「トリプルセット割引」で
最大約20%割引に!!

ボイスワープ、キャッチホン(もしくはキャッチホンII)、プッシュ回線の3商品をあわせて
ご利用いただくと、3商品の月額使用料合計金額が最大約20%割引になるサービスです。

ボイスワープ
トリプルセット I

- ボイスワープ
- キャッチホン
- プッシュ回線

割引後料金 割引前料金

住宅用 950円 ← 1,190円

事務用 1,250円 ← 1,490円

※割引前料金に最小割引の割引額は含まれておりません。

ボイスワープ
トリプルセット II

- ボイスワープ
- キャッチホンII
- プッシュ回線

割引後料金 割引前料金

住宅用 1,100円 ← 1,390円

事務用 1,400円 ← 1,690円

※割引前料金に最小割引の割引額は含まれておりません。